

2006年2月16日

太陽誘電:フィリピンの生産拠点にてBS7799認証取得 顧客の信頼性を高めるための、情報セキュリティ管理システムを構築

太陽誘電(代表取締役社長:神崎 芳郎)のフィリピンにおける生産拠点であるTAIYO YUDEN(PHILIPPINES) INC. (以下PTY)は、2005年12月10日、英国規格協会によって規定される、企業・団体向けの情報セキュリティ管理システムの国際的な規格である「BS7799-2:2002 Part2」の認証を取得しました。このことで、PTYにおける情報セキュリティの管理体制が確立したことが証明されたことになります。これはフィリピンの企業としては3番目(フィリピンの製造業では初)の認証取得になります。

インターネットに代表されるネットワークや、パーソナルコンピュータ(以下パソコン)の普及により、企業が事業活動を行う過程で取り扱う情報量は増加し、個人情報や機密情報などの情報資産が流出する危険も増大しています。経営の視点から情報セキュリティ管理システムを考えると、情報資産の流出事故が発生した場合、事業の継続性、収益の維持、競争優位性の確保に重大な影響を及ぼしかねません。

太陽誘電では、情報資産を適切に管理するという観点から、機密情報に代表される情報資産にランク付けを行い、ランクが高くなるに従って情報へのアクセスの制限や、保管、管理を厳格に行うなどの対策を講じています。PTYでも、この動きに倣い情報管理を開始しました。さらに情報セキュリティ管理システムを構築する上で、客観的な評価を受けることが有効と判断し、BS7799-2の認証取得に向けた取り組みを2004年1月より開始し、今回の認証取得にいたりました。

太陽誘電では、事業の拡大や情報資産の増加に伴い、情報セキュリティ管理の強化を行っています。昨年10月にリリースを行った、子会社のサンヴァーテックスのプライバシーマーク認証取得や今回のBS7799-2認定取得に引き続き、今後も情報セキュリティ管理システムの構築を進めていきます。

PTYは、1988年12月、台湾、韓国(2拠点)、シンガポールに続くアジアで5番目の製造拠点としてフィリピンのセブ州に設立されました。現在は、巻線および積層インダクタの製造拠点として位置付けられています。BS7799は情報セキュリティ管理システムを定めた英国規格です。企業の扱う情報資産に対し適切な保護施策を講じ、管理策を維持・改善する体制を構築することを目的として制定されました。BS7799-1とBS7799-2があり、BS7799-1は「情報セキュリティ管理実施基準」、BS7799-2は「情報セキュリティ管理システム仕様」となります。具体的には、自社のシステムの、情報資産を重要度に応じて分類し、どのように漏洩しうるか、漏洩した場合どれだけの損害が発生するかを洗い出します。BS7799-1では、管理分野ごとに管理策が示されており、BS7799-2では、その管理策を実際の現場に適した形で保護施策を策定し、現場スタッフが守るべき手順へと落とし込んでいきます。

今回、PTYが行った認証取得に対する取り組みとして、情報資産の取り扱いに関するリスク分析、情報資産の管理に関する規程を整備、コンピュータ、ソフトウェア、データ、機密情報の管理、これらを運用するシステム体制の構築があげられます。具体的には、パソコン一台につき使用者を一人に限定したうえで、そのパスワードを定期的に変更し、持ち出しも管理する、情報資産にランク付けを行い、ランクごとにアクセス制限を変更するなどがあります。

<拠点概要>

名 称：TAIYO YUDEN (PHILIPPINES) INC.

設 立：1988年12月

所 在 地：Mactan Economic Zone Lapu-Lapu City, Cebu, PHILIPPINES

資 本 金：4億9000万フィリピンペソ(約11億2000万円)

代 表 者：山崎輝光

事業内容：積層および巻線インダクタ、積層セラミックコンデンサなど